

サンゴ礁生態系保全行動計画2016-2020 (2016年3月環境省策定)

- サンゴ礁保全行動計画を全面的に見直し、2016年3月策定（委員長：土屋誠氏）
- 「海洋基本計画」「生物多様性国家戦略2012-2020」のサンゴ関係の行動計画
→愛知目標「サンゴ礁など気候変動や海洋酸性化の影響を受ける脆弱な生態系への人為的圧力を最小化し、その健全性と機能を維持」の達成に貢献
- 目標：2020年度末、**地域社会と結びついたサンゴ礁生態系保全の基盤構築**

■ 2020年までに特に重点的に取り組む3課題

- ① 陸域に由来する赤土等の土砂及び栄養塩等への対策の推進
- ② サンゴ礁生態系における持続可能なツーリズムの推進
- ③ 地域の暮らしとサンゴ礁生態系のつながりの構築



■ 推進主体

環境省、関係省庁、地方自治体、日本サンゴ礁学会等が協力して作成

→実施にあたっては、より多くの主体と協働；

地域の関係者（農林水産業、観光業、学校、公民館、研究者、NGOなど）がサンゴ礁の重要性や暮らしとのつながりを認識し、サンゴ礁生態系に配慮した行動をとり、保全の取り組みを連携して行うことが大切

■ フォローアップ

- ・ 関係省庁・自治体が情報共有や連携促進等を行う**ワークショップ**を、年1回実施、併せて地域の実情に応じ、**シンポジウム**などを開催。（2017.2喜界島）
- ・ 各地の対策推進の参考事例となるよう、地域が主体となった**モデル事業**を実施
- ・ 2018年度に達成状況の**中間評価**、2020年度に**終了時評価**により見直し

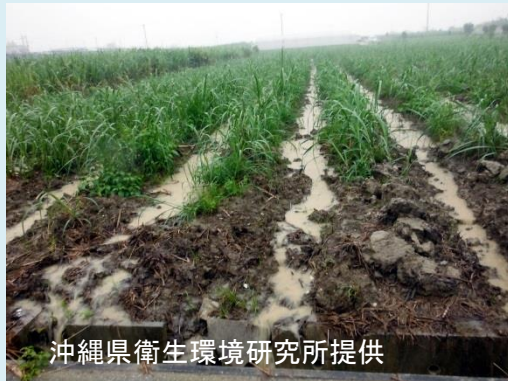
①陸域に由来する赤土等の土砂及び栄養塩等への対策の推進

■現状と課題

- 開発事業と農地からの赤土流出、化学肥料・畜産し尿・生活排水からの栄養塩流出
- 農地における整備での対策とソフト対策の組合せ、農地等への普及啓発、汚水の適正処理等が課題

■2020年度における目指すべき姿

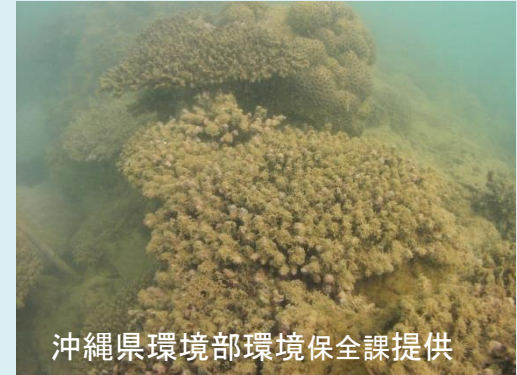
- 関係機関の連携、協力により、数カ所の地域において陸域に由来する負荷の軽減対策を試行し、そこから得られる教訓を他地域でも応用可能なように整理・提供する



沖縄県衛生環境研究所提供



沖縄県衛生環境研究所提供



沖縄県環境部環境保全課提供

■与論島におけるモデル事業

- サンゴ礁生態系保全と結びついた地下水保全の取組
- 「与論島の水環境・サンゴ礁・未来を考えるシンポジウム」を開催(3/9)



②サンゴ礁生態系における持続可能なツーリズムの推進

■現状と課題

- 観光資源としての価値が高まり、観光利用が増加
- 過剰利用、不適切な利用による踏みつけや接触による悪影響

■2020年度における目指すべき姿

- サンゴ礁生態系における持続可能なツーリズムのモデル事例が構築され、サンゴ礁生態系の適切な活用方法や保全などに係るノウハウ等の共有体制が構築される
- 海外観光客増加に向け、多言語対応の保全への理解を深める効果的な普及啓発ツールが開発・提供される



■石垣島米原海岸におけるモデル事業

- 地域を主体に、海岸の適正利用ルールの策定
- 関係者による検討会を開催(2/24)



③地域の暮らしとサンゴ礁生態系のつながりの構築

■現状と課題

- サンゴ礁生態系と地域の暮らしとの隔たりが急速に拡大
- サンゴ礁とのつながりで育まれた地域の伝統文化の消失、漁業資源の減少

■2020年度における目指すべき姿

- サンゴ礁生態系がもたらす恵みが地域毎に整理され、理解され、適切に活用されることを通じて、地域主体のサンゴ礁生態系の保全が促進される
- 高緯度サンゴ群集域においては、サンゴ礁の恵みの活用方法などに関する情報の共有が促進される



(出典: 石垣島沿岸レジャー安全協議会
「あんなだったよ～石垣島」2015 イラスト=笠原利香)



■喜界島におけるモデル事業

- ・地域の人々にサンゴ礁生態系と暮らしのつながりを知ってもらう
- ・喜界島サンゴフェスを開催(2/11)

